

育成モノづくり人材

Vol. 95

山形県立酒田光陵高校

2012年4月に山形県酒田市内の四つの公立高校が統合し、新たに誕生した山形県立酒田光陵高校。旧酒田工業、旧酒田商業、旧酒田

田北の県立3校と市立の旧酒田中央が一つになり、専門教育と普通教育を併せ持つ高校として7年目を迎えた。現在の総生徒数は約1050人。北海道・東北地域で有数の規模



鈴木校長

【DATA】▷校長—鈴木和仁氏
▷所在地—山形県酒田市▷学科構成—工業科（機械科、電子機械科、エネルギー技術科、環境技術科）、普通科、商業科（ビジネス流通科、同会計科）、情報科▷生徒数—約1050人▷主要設備—CAD/CAM、フライス盤、旋盤、マシニングセンターなど▷主な進路—花王酒田工場、東北エプソン、ユーテック、TDK庄内、キャノン電子、東北電力など

するコミュニケーション
アマイスタ
1 顕彰で
は、14年度
に初めて全
国認定者数
上位30位以
上に入っ
た。山形県
では初めて
のことだっ

地元「協力会」が後方支援

を持ち、けん引役でもある工業科は約480人が学ぶ。工業科は機械、電子機械、エネルギー技術、環境技術の4科目で構成。工業科は地元産業界との結びつきが強く、地元のモノづく

テスト支援やメカトロ アイデアコンテスト製 育活動振興費を毎年度 予算化している。鈴木 和仁校長は「モノづく り人材育成に向けた地 元産業界の期待は熱 強く、地元のモノづく り」を強調する。



工業科の機械加工実習

な視点を持つモノづく り人材育成に目を向け 18年2月には、商業科の生徒が運営する地域と学校をつなぐ一般社団法人「SKIES（スカイズ）」が学びの環として立ち上がった。これを機に、ビジネスの視点も取り入れ自己の可能性を広げていく工業教育も展望する。専門性が高められる環境にある酒田光陵高校。モノづくり力をベースに地域で活躍する新しい人材の育成を模索する。

（山形支局長・大矢修一）
（金曜日に掲載）